

砂浜でプラごみさがし

湖西 親子で環境問題考える



浜松、湖西両市や地元企業などでつくる「浜名湖の水をきれいにする会」はこのほど、浜名湖の恵みや身近な環境問題を子どもたちに考えてもらおうと両市の小学生と保護者を対象にした体験学習会を湖西市の新居弁天海水浴場で開いた。15組35人の親子連れが砂浜でマイクロプラスチックになるごみを探したり、弁天島周辺のいかり瀬で生き物を観察したりし

た。NPO法人地域づくりサポートネット(本部・静岡市葵区)の山内秀彦代表理事が講師を務め、自然界で分解されないプラスチックごみによる海洋汚染の問題を解説した。参加者は家族ごとに海水浴場の砂を水にさらしたりざるでこすなどして砂粒の中に交じった細かなごみをピンセットで採取し、見つけたごみの種類を分析し

砂浜でプラスチックごみを探す親子ら
＝湖西市新居町の新居弁天海水浴場

た。浜松市立城北小4年の渡辺航成さん(9)は「お菓子の袋のごみなどが思っていたよりも簡単に見つかった」と話した。

(2024年9月21日付西部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ①写真の親子はどんな場所でプラごみを探していますか。()
②この親子はどんな方法でプラごみを見つけていると思いますか。()
③プラごみはどんな問題につながりますか。記事から読み取って書きましょう。()
④記事を参考に「プラごみを減らすためにあなたができること」を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

Table with 12 columns and 2 rows for writing answers. The second row contains numbers 5, 10, 15, 20, 25, 30 in the 5th, 7th, 9th, 11th, and 12th columns respectively.

【学習のポイント】

新聞には、SDGsなど世界の問題を解決するためのヒントが数多く載っています。ぜひ参考にしよう。

※対象は小学校～中学校/生活、社会、理科、総合

静岡新聞
しずおが しんぶん

ワークシート

砂浜でプラごみさがし

湖西 親子で環境問題考える



浜松、湖西両市や地元企業などでつくる「浜名湖の水をきれいにする会」はこのほど、浜名湖の恵みや身近な環境問題を子どもたちに考えてもらおうと両市の小学生と保護者を対象にした体験学習会を湖西市の新居弁天海水浴場で開いた。15組35人の親子連れが砂浜でマイクロプラスチックになるごみを探したり、弁天島周辺のいかり瀬で生き物を観察したりし

た。NPO法人地域づくりサポートネット(本部・静岡市葵区)の山内秀彦代表理事が講師を務め、自然界で分解されないプラスチックごみによる海洋汚染の問題を解説した。参加者は家族ごとに海水浴場の砂を水にさらしたりざるでこすなどして砂粒の中に交じった細かなごみをピンセットで採取し、見つけたごみの種類を分析し

砂浜でプラスチックごみを探す親子ら
＝湖西市新居町の新居弁天海水浴場

た。浜松市立城北小4年の渡辺航成さん(9)は「お菓子の袋のごみなどが思っていたよりも簡単に見つかった」と話した。
(2024年9月21日付西部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

- ① 写真の親子はどんな場所でプラごみを探していますか。()
- ② この親子はどんな方法でプラごみを見つけていると思いますか。()
- ③ プラごみはどんな問題につながりますか。記事から読み取って書きましょう。()
- ④ 記事を参考に「プラごみを減らすためにあなたができること」を30字以内で書きましよう(句読点を含みます)。

																5	10	15
																20	25	30

【学習のポイント】

新聞には、SDGsなど世界の問題を解決するためのヒントが数多く載っています。ぜひ参考にしよう。

※対象は小学校～中学校／生活、社会、理科、総合

解答例

- ① (新居弁天海水浴場の)砂浜
- ② 砂を水にさらしたり、ざるでこすなどして見つけている。
- ③ (例) 自然界で分解されないでマイクロプラスチックとなり、海洋汚染の問題につながる。
- ④ (例) お菓子の袋がプラごみにならないよう、必ずごみ箱に入れる。(28字)
買い物の際はマイバッグを持参して利用するよ

うにする。(26字)
使い終わったプラスチック製品は分別を確実に
行う。(24字) など

解説

- ① 写真の説明や見出し、本文6～7行目から分かるね。
- ② 写真から予想して、本文16～21行目で確かめよう。

- ③ 見出しや本文3～5行目、14～16行目に書かれていることをまとめよう。
- ④ 本文の最後に書かれている児童の話などを参考に、身近でできることについて自分ごととして答えよう。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢 和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。